メディアシェフ／フリッカーチェック

Mediachef/FLICKER CHECK

HITACHI
Inspire the Next

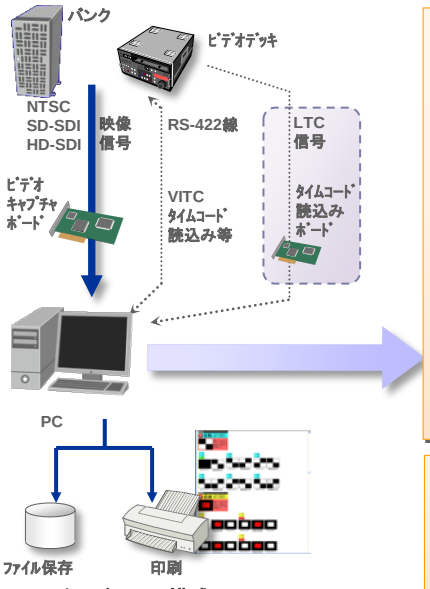
■製品概要

近年、映像業界では制作物に対する責任や、視聴者保護の重要性が高まっています。
本製品は民放連ガイドライン*1、ITUガイドライン*2 に基づき、映像検査業務を支援します。

新機能　ラウドネス計測に対応*3

アニメーション等の映像手法に関するガイドライン *1

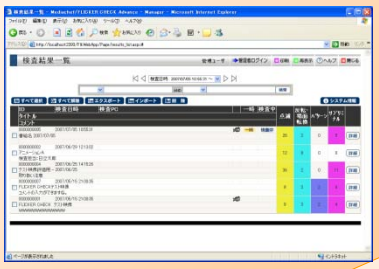
1. 映像や光の点滅は、原則として1秒間に3回を超える使用を避けるとともに、次の点に留意する。
   (1)「鮮やかな赤色」の点滅は特に慎重に扱う。
   (2)避けるべき点滅映像を判断するにあたっては、点滅が同時に起こる面積が画面の1/4を超え、かつ、輝度変化が10%以上の場合を基準とする。
   (3)前項(1)の条件を満たした上で、(2)に示した基準を超える場合には、点滅は1秒間に5回を限度とし、かつ、輝度変化を20%「以下に抑える。加えて、連続して2秒を超える使用は行わない。
2. コントラストの強い画面の反転や、画面の輝度変化が20パーセントを超える急激な場面転換は、原則として1秒間に3回を超えて使用しない。
3. 規則的なパターン模様（縞模様、渦巻き模様、同心円模様など）が、画面の大部分を占めることも避ける。



スタンドアロン構成

検査結果一覧画面

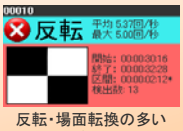
・検査結果ファイルの一覧
・結果の削除などファイル操作
・キーワード検索



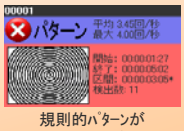
詳細レポート画面

・危険度グラフとタイムラインに問題箇所を表示
・アイコン画像と測定値の詳細表示

点滅の激しい映像区間



反転・場面転換の多い映像区間

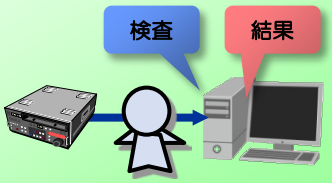


規則的ﾊﾟﾀｰﾝが検出された映像区間

ｻﾌﾟﾘﾐﾅﾙ映像が検出された映像区間

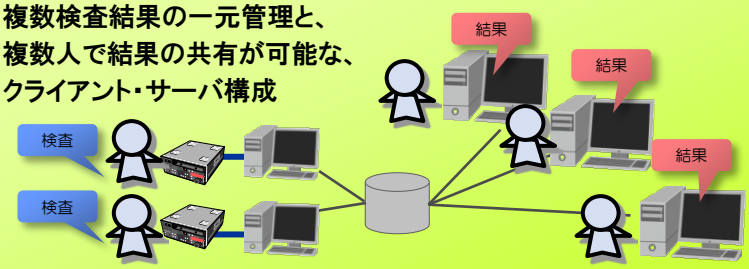
FLICKER CHECK Basic

1映像入力1台で使用するスタンダード構成



FLICKER CHECK Advance

複数検査結果の一元管理と、
複数人で結果の共有が可能な、
クライアント・サーバ構成



*1 〈アニメーションなどの映像手法に関するガイドライン〉「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」(2006年4月1日一部改定)は、日本放送協会(NHK)と社団法人 日本民間放送連盟(民放連)が、共同で作成したものです。ガイドラインの詳細については、民放連のインターネット ホームページをご参照ください(http://j-ba.or.jp/)。
*2 RECOMMENDATION ITU-R BT.1702 Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television
*3 Recommendation ITU-R BS.1770-2 Algorithms to measure audio programme loudness and true-peak audio level および ARIB TR-B32 デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定
※ 記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

株式会社 日立ソリューションズ

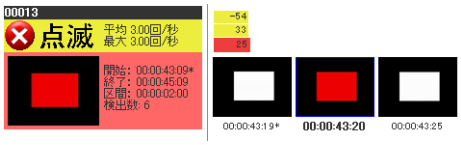
■機能概要

本製品は、日立の長年に渡る実績と、お客様の要望を取り入れて実現しました。
有害映像の検査、映像検査の結果分析を容易に行うことができます。

変化点の測定値を詳細表示

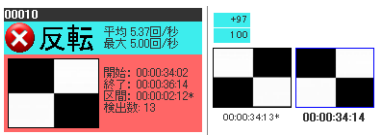
◆点滅

点滅の開始、変化点、終了のアイコン画像と、輝度差・面積・赤色の面積の測定値を表示します。



◆反転・場面転換

反転・場面転換の前後のアイコン画像と、輝度差と面積の測定値を表示します。

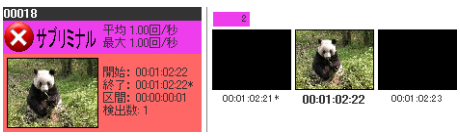


◆規則的パターン

規則的パターンのアイコン画像と、面積の測定値を表示します。

◆サブリミナル

サブリミナルとその前後のアイコン画像と、サブリミナルの長さの測定値を表示します。



HD-SDI 入力対応

◆HD-SDIの直接入力に対応します。(標準入力形式はNTSC、HD/SD-SDI)
SDIのエンベデッドTCの入力も可能です。
*HD映像入力にはHDキャプチャボードとそれに対応するパソコンが必要です。

シンプルなGUI

◆検査処理は、「開始」「終了」ボタンを押すだけのシンプルな操作で行えます。

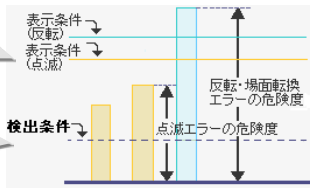
危険度グラフ・タイムライン

◆危険度グラフ

点滅や反転の輝度差、面積、回数などが条件に対し、どれだけ超えているかを、棒グラフの高さで表示します。

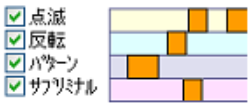
表示条件
＝検査条件に対し、緩和した設定値
(グラフに表示条件の境界線を表示)

検出条件
＝映像検査の際に基本とする設定値



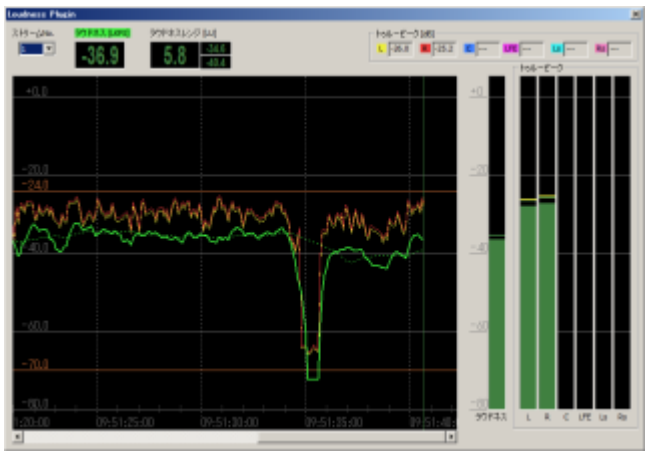
◆タイムライン

問題の箇所を、要因別にタイムラインに表示。クリックすると、該当する詳細表示の部分を頭だしします。



ラウドネス*1計測 新機能

◆ラウドネス、トゥルーピーク、ラウドネスレンジ*2の計測にオプションで対応しました。
・ラウドネス、トゥルーピークの数値表示、グラフ表示
ラウドネスレンジは数値表示のみ
・ラウドネスはモーメンタリー、ショートターム、インテグレーテッドに対応
◆その他の検査、計測もご要望に応じて追加可能です。
*1:ITU-R BS.1770-2、ARIB TR-B32　*2:EBU R128 tech3342



⚠ 安全に関するご注意	正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障、などの原因となることがあります。本製品をより良い状態でご利用いただくために、保守契約をお勧めいたします。

製品特許: 特許第3622527号, 特許第3685208号, 特許第3595871号, 特許第3543491号, 特許第4184402号, 他出願中。

商品・サービスに関するお問い合わせ

■発売元
株式会社日立システムズ
担当:池田 克己　電話:03-5435-4144
e-mail: katsumi.ikeda.bs@hitachi-systems.com
HP:http://www.hitachi-systems.com/solution/a0001/flickercheck/

■開発製造元
株式会社日立ソリューションズ

株式会社 日立ソリューションズ
http://www.hitachi-solutions.co.jp/